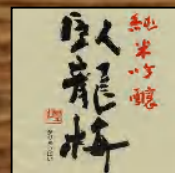


『臥龍梅』 歳便り

平成二十一年水無月



拝啓 青葉若葉の候となりましたが、皆様、お元気で過ごしてでしょうか。



今月をご報告することが盛りだくさんです。まず、蔵で麴屋を務める神谷昌宏君がめでたく結婚いたしました。蔵の仕事がすべて無事終了したのが4月29日、その1週間後の5月6日に市内の会場で華燭の典を催したものです。新婦の佑美さんと二人で臥龍梅の樽を鏡開きする一世一代の晴れ姿を見てやってください。神谷君の母校、北海道大学の学生寮で一緒に暮

らした仲間が、余興に臥龍梅をネタにしたコントを披露してくれ、会場は大爆笑で盛り上がりました。さて、その4日後の5月10日(日)には東京都北区の北トピアで「臥龍梅 特約店の集い」と「臥龍梅 新酒を愉しむ会」を開催いたしました。前半「特約店の集い」では、東京近郊の特約店様にお集まりいただき、平成20BYの新酒をあますことなく利き酒していただきました。どの酒も臥龍梅らしい良い出来映えと好評でしたが、ことに今月お薦めする新商品、「純米吟醸 超辛口」が注目を集めておりました。後半「新酒を愉しむ会」は日頃のご愛顧にお応えして開いたお酒の会で、200名の臥龍梅ファンで広い飛鳥ホールが埋め尽くされました。当初、150名規模で予定していたところ、お申し込みが殺到したため席数を増やして対応いたしました。それでも会場の大きさから200名が限界で、その後お申し込みいただいた皆様には不本意ながらお断りせざるを得ませんでした。ご希望に添えなかったご愛好家の皆様にはこの場を借りてお詫び申し上げます。会場の盛り上がりぶりを写真でご覧下さい。この日は、「純米大吟醸 愛山 袋吊り」等のレアアイテムに加え、まだ発売前の「純米吟醸 備前雄町 袋吊り」「純米吟醸 超辛口」等、720ml 壺 102本、1.8L 壺 24本のお酒を用意しましたが、すべてすっからかんになりました。朝早くから従業員総出で静岡から上京して会場を設営し、菅原杜氏にも岩手から駆けつけてもらいましたが、この会場の熱気に接し皆さんの喜んでくださる姿を見ると、つくづく開催してよかったと思われました。その翌週末の22日、出入りの業者から「おめでとうございます」と電話がかかってまいりました。忙しさにかまけて忘れていたのですが、広島審査の結果が発表になっていたのです。というわけで、臥龍梅が平成20BYの全国新酒鑑評会で金賞を受賞したことをご報告いたします。(お酒の会で35%精米の大吟を飲んでいただいた方、あれがそのお酒ですよ！)



今月、金賞を受賞した山田錦 35%精米の大吟醸無ろ過原酒とお酒の会で大好評をいただいた五百萬石 55%の純米吟醸超辛口を新たにご案内いたします。どちらも素晴らしい出来映えですので、お見逃しなきよう。

いよいよ田植えも始まり、夏近きを思わせます。皆様ますますお元気で。

平成21年6月吉日

敬具

鈴木克昌